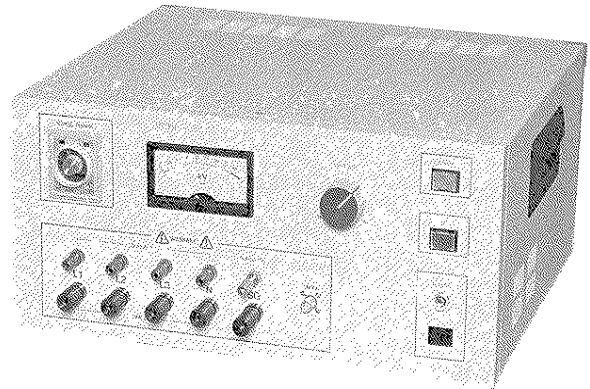


減衰振動波許容度試験器

MODEL SWCS-932/S4

ANSI/IEEE C37.90.1-1989 に準拠した静止型リレーを含むシステムにおける減衰振動波サージ耐力を評価する試験器です。

- ◆ 商用電源に減衰振動波電圧を重畳し、機器の耐性の評価が簡単に行えます。
- ◆ 半導体スイッチの採用により信頼性を向上させました。
- ◆ 発生部をフローティングにしているため、トランスバーストモード(相間注入)の試験でも試験器を大地から浮かす必要はありません。
- ◆ 最大出力電圧が4kVのため、余裕のある試験ができます。
- ◆ 出力電圧制限回路が内蔵されています。



仕様

出力サージ波形	減衰振動波
発振周波数	1MHz~1.5MHz(範囲内で固定)
繰り返し周波数	50 または 60Hz(駆動電源に同期)
出力電圧	1kV~4kV(連続可変)
極性	正極性開始のみ
立ち上がり時間	第一半波最大波高電圧までの立ち上がり時間 ≤100ns
半波高値に至る時間	6 μs 以上(SURGE OUT 端子で開放出力)
出力インピーダンス	150 Ω (150 Ω+20%、-0%)
印加時間	1~10s(タイマーの設定により1秒から10分まで可能)
カップリングコンデンサ	0.1 μF
供試体電力容量	AC240V 単・三相 20A DC100V 20A
駆動電源・動作温度範囲	AC100V±10% 50.60Hz 10~40°C
寸法	(W)430×(H)200×(D)100 mm

EMS テスター

MODEL PET-E1

電子機器のノイズに対する免疫性評価は、完成した形で種々のノイズ試験がなされるのが通常です。また誤動作するのはプリント基板上の制御回路が殆どであり、この段階でノイズ対策を行なうには高価な対策コストが必要になります。

EMS テスターは、基板レベルでどの部分がノイズに弱いか切り分けし、対策を行なうことで、対策コストを最小にしようとする、設計技術者のための対策ツールです。

- ◆ ハンディタイプの誤動作対策ツールなので、場所を選ばず手軽に使用して効果的な対策ができます。
- ◆ 新開発の MDI (Monocontact Direct Injection) 方式により効果的な対策作業が行えます。(MDI=部品破壊の危険性の少ないノイズ印加方式)
- ◆ EMS プローブキット H2(弊社別売り)の信号発生源としてもご利用できます。



定価

¥110,000

仕様

電圧範囲	140V~1000V 20V ステップ(内部コンデンサへの充電電圧)
極性	+または-
容量	内部コンデンサ容量 100pF
出力	MDI OUT(MDI 用出力)または H2 OUT(H2 用出力)MODE キーによる切換式
電源	Ni-Cd 電池内蔵 専用充電アダプタ添付